

鳥取県選手権水泳競技大会（競泳）運営における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

(一財)鳥取県水泳連盟競技委員会

大会には、昨年以上の参加者が見込まれます。観客等も増えることが予想されます。

以下の事項を遵守してください。

- *選手観覧席開場は7時30分（各所属3名でテント等の準備で入場）、選手入場は7時50分、保護者観覧席は9時とします。
選手は必ず、受付で選手証を各所属のコーチより受け取ってよく見える位置へ掲示してください。その際、必ず検温をして入場してください。（高校生は県総体時に配布している選手証を必ず携帯し、よく見える位置へ掲示すること）
- *本大会に参加していない選手の観覧席への入場は禁止します。（ADコントロールを実施します）
- *今大会は、レース後の「横退水」を実施します。また退場は1階の機械審判席横を通り、各所属場所へ移動してください。2階通路は通行できません。

大会参加について

- 選手は必ず「大会参加同意書」を提出すること。
- 大会参加者は、必ずマスクを着用する。（熱中症等の対応で柔軟に対応すること）
- 体調不良者を参加させない。
- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等の中に感染者が確認されたチームについては、大会へ参加できない。
- 大会に参加する選手、監督、コーチ、運営スタッフ等は、大会の2週間前から検温結果及び体調について別紙の「体調管理表」に記録し体調管理に努める。当日、検温を行い、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できない。（無理をして出場しない）
主力であっても、このことを徹底する。
- 各チームの代表者は、受付時に大会参加同意書・健康チェックシート・体調管理表・大会当日体調チェックシートをまとめて提出し、指定されたチームごとに入場し、手指消毒した後、大会受付で健康観察（検温）を受けること。「大会当日体調チェックシート」は2日間提出すること）
- 受付時には、参加者同士が十分な距離を確保すること。
- 各選手は、必ず選手受付を通り、検温してから控え場所に移動する。
「選手証」を見える位置に掲示すること。

大会開催中の行動について

- 参加者は必ずマスクを持参し、試合を行っていない時や会話時においてもマスクを着用する。
ただし、息苦しさ等を感じる場合はマスクを無理に着用しない。
- 参加者は、個人間の距離（できるだけ1 m以上）を確保するとともに、大会中大きな声での会話、応援等を控えること。
- 可能な限り、選手控え場所での間隔を取り、更衣を素早く済ませよう心掛けること。
- 観客席を広く使い、間隔を空けて座るよう心がける。（観客席偶数列の使用禁止）
- 招集所・更衣室の換気を行うとともに、混雑を避けるために、レース時間の間隔をあける。
- 試合の前後だけでなく、こまめな手洗いやうがい心がける。
- 他チームとの接触を控えるとともに、マッサージやストレッチなどでの接触も控えるようにする。
- ミーティングなどは、長時間密とならないよう配慮する。
- 水分補給は個人で容器を準備する等し、回し飲みなどはしない。
タオルは個人で準備し、共用しない。

保護者（観覧者）へのお願い

***観覧席の開場は9時とします。**

***事前に各所属で大会当日の体調チェックシート（観客名簿）を作成し、（一財）鳥取県水泳連盟に提出すること。（事前申請のみとする）**

- 観覧者は**家族のみ**とし、受付時に健康チェックシートを提出し、大会当日の体調チェックシート（各所属準備）を確認の上、許可証等を発行するとともに、以下の内容を厳守する。
 - 1 観覧者受付を必ず通り、許可証を受け取り、よく見える位置に提示すること。
 - 2 健康チェックシートの提出と体調チェックシート（事前申請）に名前が無いものは入場できない。
 - 3 観覧者は、必ずマスクを持参し着用する。
 - 4 観覧日には「健康チェックシート」に記入し、提出する。
 - 5 発熱等、風邪症状があるものは施設利用できない。
 - 6 声援はなるべく出さないように感覚を十分にとって観覧できるようにするとともに、集団となつての応援をとらないように注意する。
 - 7 地区ごとに観覧場所を区分けするので、撮影等する場合は十分譲り合い、密とならないように気をつけること。

その他

- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認が取れる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。
- 上記の対応を守れない観客等は退場していただくこともある。